

明けましておめでとうございます

平成24年 岡本実教育長 年頭メッセージ

保護者のみなさまへ

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。日頃から、本市の教育行政や学校教育に対しまして深いご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。今年も、心豊かに生きていく子どもたちを育てる相模原教育を充実・発展させて参りたいと思いますので、変わらぬご支援をお願いいたします。



<大切な命>

まもなく東日本大震災から10か月が経ちます。震災直後は電車が止まったり、ガソリンスタンドに行列ができたり、混乱することもありましたが、現在本市においてはもとの生活を取り戻しているように感じます。しかし、東北地方の方々の生活はどうでしょう。今もなお、もとの生活に戻ることができず、苦しい思いをしている方がたくさんいることを映像等で知ることができます。そのようなニュースを見るたび、震災はまだ続いているのだと実感します。被災地の方々に思いを馳せながら、改めて命の大切さや地域・人とのつながりについて子どもたちと話していただきたいと思います。それは、何気ない日常に感謝するとともに、自分にできることを考え続けることにつながります。



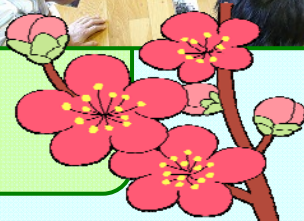
<心のつながり>

今朝、子どもと「おはよう」のあいさつをかわしましたか。朝食のテーブルを囲んで子どもとどんな話をしたか思い出せますか。携帯電話やパソコンなどのコミュニケーションツールがわたしたちの周りにはたくさんありますが、人と人をつなぐ大切なこと、それはお互いの顔を直接見て「話す」ことではないでしょうか。子どもは大人が考えている以上に様々な思いを抱いて生活しています。ふだんからしっかり言葉を交わしていくことで、子どもの気持ちを受け止めることができます。心がつながるように言葉をつなげていきましょう。



<子どもの学び>

学校では、子どもたちが毎日多くのことを学んでいます。その学びに「勉強してよかった」と感じるのはどんな時でしょうか。覚えたかけ算九九を使って実際に買い物が出来たとき、勉強の面白さを実感するでしょう。また、家庭科で習った料理を家で作って家族に喜ばれたといううれしさは、子どもの心に刻まれるはずです。学んだことが日々の暮らしに役立ち、喜んでくれる人がいることを知るならば、子どもたちが自分のよさを感じ取り、自信をもつことにもつながります。それは時間や手間のかかることかもしれませんが、励ましたり子どものやりたいことにつき合ったりしながら温かく見守っていただけたらと思います。



教育長メッセージURL

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kyouiku/001150.html>